

高島平緑地再整備に向けた進捗状況について

令和6年度より取り組んでいる高島平緑地再整備方針策定に向けた取り組みと検討状況について、以下のとおり報告する。

1 再整備方針策定の背景

高島平緑地は、平成初頭以降大規模な改修を行っておらず、魅力やにぎわいに欠け、低未利用となっている場所があるなどの課題が挙げられている。

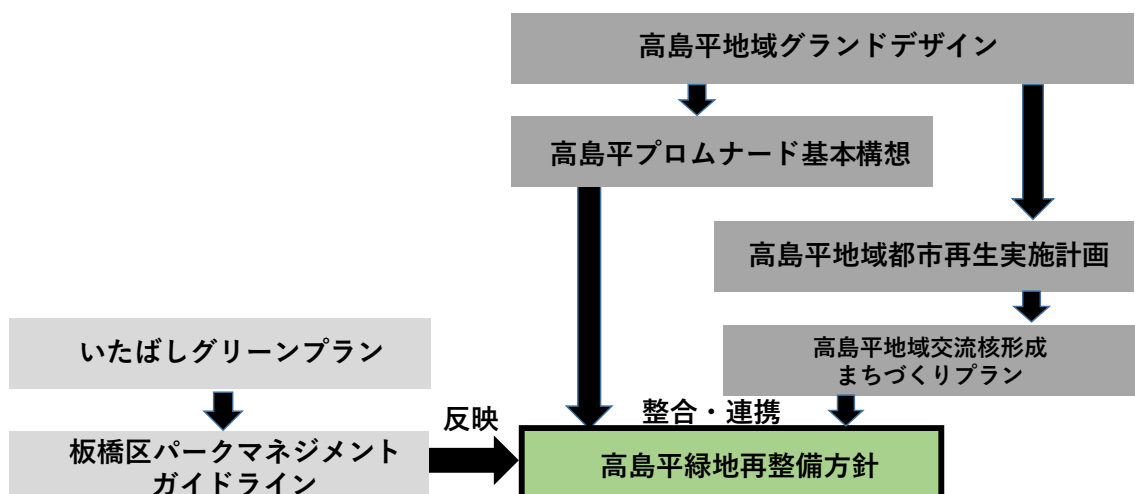
一方で、高島平地域のまちづくりとしては、平成27年の「高島平地域グランドデザイン」の策定を皮切りとして、「高島平プロムナード基本構想」、「高島平地域都市再生実施計画」や、「高島平地域交流核形成まちづくりプラン」を示してきた経緯がある。

特に、「高島平プロムナード基本構想」は、都市再生を先導する都市軸の形成をめざし、高島平緑地の整備や活用等について言及している。これに加えて、昨今の急激な社会情勢の変化やコロナ禍等を経て、緩衝緑地帯としての機能から緑地活用の新たなステージへの転換が望まれているところである。

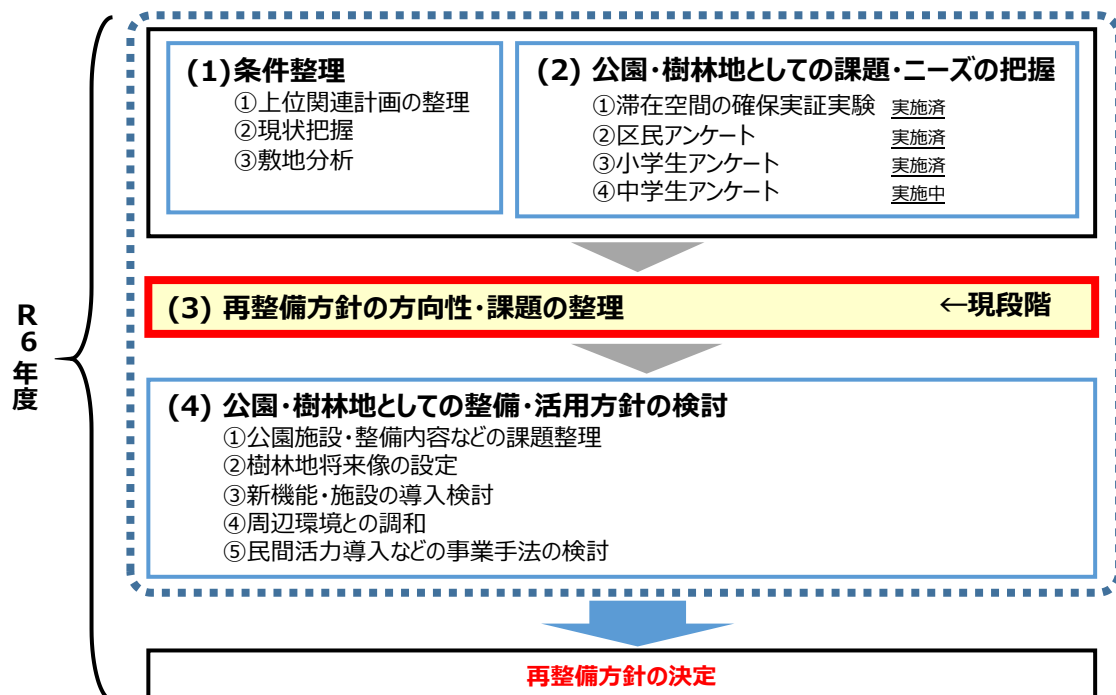
そのため、「高島平プロムナード基本構想」の具現化に向け、まちづくりの進捗や社会需要等を反映した、高島平緑地の整備及び活用の方針を策定する。

2 再整備方針の位置づけ

本方針は、高島平のまちづくりに関する各種計画と整合・連携を取ると共に、板橋区パークマネジメントガイドラインを踏まえた内容とし、今後の高島平緑地の再整備を推進していくために策定するものである。



3 再整備方針の検討フローと進捗状況



4 公園・樹林地としての課題・ニーズの把握 ※ 参考資料参照

(1) 滞在空間の確保実証実験

緑地内において滞在を楽しめる空間をつくり出し、同時にアンケート調査を行うことで、緑地の課題やニーズ等を把握整理するために、計5日間にわたり滞在空間の確保実証実験「りよくちであそぼう」を実施した。

日程	時間	内容	来園者数
9月29日	10:00～12:30	おえかき&シャボン玉	約300人(58)
10月26日	10:00～17:00	芝生ひろばでピクニック&キッチンカー	約300人(17)
11月16日	13:00～15:00	おえかき&シャボン玉	約115人(44)
11月17日	11:00～16:00	秋空ピクニック	約350人(16日と共通)
11月23日	11:00～19:30	夜までりよくち満喫	約480人(105)

※「来園者数」の()内はアンケート回答数

(2) アンケート調査（区民・小学生・中学生）

高島平緑地を「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所」としていくための課題や将来のあり方について、区民等から意見を収集するため、webアンケートシステムを用いて調査を行う。

	区民アンケート	小学生アンケート	中学生アンケート
期間	令和6年10月22日～11月24日※実施済	令和6年12月初旬～12月13日※実施済	令和7年1月中 ※実施中
対象	区民および 区内通勤通学者	高島平緑地近隣小学校8校 小学3～6年生の児童(2,283人)	高島平緑地近隣中学校5校 全生徒(2,041人)
回答数	383件	1,167件	—

5 再整備方針の検討の方向性（令和6年12月時点）について

既往資料や各種調査等をもとに検討した再整備方針の内容（案）は下記のとおりである。今後更なる検討を重ね、令和7年3月に再整備方針を策定する。

課題・ニーズ

社会変化によるもの

【アフターコロナの視点】

- ・ 柔軟に活用できるオープンスペース
- ・ ゆとりある屋外空間

【質の高い公園管理の在り方に関する視点】※

- ・ 心豊かな生活を支えるサードプレイス
- ・ 持続可能な都市を支えるグリーンインフラとなる公園
- ・ 民間活力による公園の最大限活用
- ・ 人と人とのリアルな交流、社会課題解決に向けた活動実践の場

アンケート結果によるもの

【住民意見の傾向】

- ・ 安全快適な歩行空間
- ・ にぎわいや活動の場
- ・ 地域協働の仕組みの構築
- ・ 散策や活動を楽しめるみどり
- ・ 遠方からも訪れたい場所

【高島平プロムナード基本構想の8つの方針のうち、住民意見の傾向を踏まえ、緑地において重点的に考慮するもの】

- ・ 「歩きたく、自転車にも乗りたく、憩いたくなる場づくりを行う」
- ・ 「プロムナードを活用し、にぎわいや地域の活動を創出する」
- ・ 「心と体の健康づくり、子どもの教育、様々な人々の社会参画に貢献する」

柱Ⅰ

持続可能な社会の実現に寄与する「貢献する緑地」

①既存樹木を活かした緑陰空間の確保

- ・ 気候変動による気温上昇の対策として、高島平緑地の健全な既存樹木を活用した緑陰を形成すべく、樹木の適正配置・育成環境向上による樹冠拡大や、樹種の検討

②100年先も活用できる緑地空間整備

- ・ 頻発する豪雨への対策として、浸透しやすい土壌への改良や、緑地をくぼ地状にして雨水を敷地内地下に貯留浸透させて災害リスクを低下させる雨庭の設置
- ・ 災害発生時の延焼遅延や一時避難場所となる樹木配置・樹種選択

柱Ⅱ

にぎわいあふれ、高島平の自慢となる「活用する緑地」

①ホスピタリティの高い公園整備

- ・ 安心して利用できる空間とすべく、防犯性に配慮した中低木配置や夜間照明を設置
- ・ 快適な歩行・滞在空間とすべく、ユニバーサルデザインの視点を踏まえたトイレ、園路、ベンチ等の公園施設を整備
- ・ 地域のにぎわいや活動の場とすべく、広場やカフェ・レストラン等を整備
- ・ キッチンカー等をはじめとした区民活動が開催しやすい電源や水道等の整備

②住民や民間活力の積極的導入

- ・ 区民や民間活力の導入を検討すべく、社会実験を実施
- ・ 公園の柔軟な運営を目指し、利用者が自ら公園の利用ルールを構築する仕組みづくり
- ・ 区民が気軽に緑地の管理活動に参加、活動の場として利用できる仕組みづくり

柱Ⅲ

高島平の地域・生活の質を高めていく「共存する緑地」

①活動の場となるみどりの整備

- ・ 散策や活動の場として利用できる高木のみエリアや、遠方からも訪れてもらえるような季節の彩りを感じられる植栽や花畑を有したエリアなど、活動をイメージしたゾーニング
- ・ 高島平緑地に接続する道路や、緑地周辺の土地利用・建築物及び骨格となるみどりを考慮したゾーニング

②植栽監理の仕組みづくり

- ・ 高島平緑地にふさわしいみどりを創出すべく、造園や植物に経験の深い監理者を置き、必要に応じて監理者、区、地域活動団体、維持管理受託者等で現場確認を実施

※国土交通省“都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会”国土交通省（R5.3.31）
https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000064.html

公園・樹林地としての課題・ニーズの把握

1 滞在空間の確保実証実験

目的

- ①滞在できる空間づくりが求められている
- ②利用可能な場所として印象づける必要がある
- ③高島平緑地を管理・活用する地域の担い手を探したい
- ④高島平緑地に実際に利用する人の意見を吸い上げたい

STEP1

「おえかき&シャボン玉」 9月29日・11月16日 …②
特に子どもが遊べる場所として認識されていない現状を踏まえ、
小さいお子様と保護者を対象とした遊び場を提供し、認知度の向上を図る。

STEP2

「芝生ひろばでピクニック」 10月26日 …①・②
対象は絞らず、おいしい食べ物、くつろげる芝生ひろば、絵本を用意し、
滞在に特化した空間を提供することで、滞在に必要な仕掛けや要素を探る。

STEP3

「秋空ピクニック」「夜までりよくち満喫」 11月17・23日（16日）…①・②
STEP2に加えて、地域の商店の出店やトークセッションを開催し、
より地域を巻き込んだ内容とする。
夜間利用・火気使用など、普段とは異なる緑地の利用について検討する。

当日の様子

STEP1

「おえかき&シャボン玉」



STEP2

「芝生ひろばでピクニック」



STEP3

「夜までりよくち満喫」



2 アンケート調査（区民）

主な調査項目

- ①利用頻度及び目的
- ②緑地の理想像
- ③緑地にほしい施設
- ④参加したい活動
- ⑤自身で主催したい活動

結果(抜粋)	再整備方針へ方向性(案)
利用頻度 →ほとんど利用しない、年数回、月数回が半数以上	・近隣住民のための整備を主眼におきつつ、区内他地域の方にも来園いただけるような整備
利用目的 →通行が約半数、次いで散歩	・快適な歩行・滞在空間の整備
『高島平プロムナード基本構想』の8方針の内、高島平緑地にふさわしいもの →「歩きたく、自転車にも乗りたく、憩いたくなる場づくりを行う」 →「プロムナードを活用し、にぎわいや地域の活動を創出する」 →「心と体の健康づくり、子どもの教育、様々な人々の社会参画に貢献する」	・快適な歩行・滞在空間の整備 ・イベント等開催しやすい電源や水道等の整備 ・地域協働や、活動の場として利用できる仕組みづくり
緑地の理想像 →安全快適な歩行空間 →にぎわいや活動の場 →広々とした芝生や草地 →季節の草木や花を楽しめる緑地 →散策や活動を楽しめる緑地	・安心安全、快適に利用できる空間の整備 ・広々として明るい、活動の場となる空間の整備 ・季節を感じられる植栽 ・散策や活動の場にもなる緑地
緑地にほしい施設 →清潔なトイレ、ベンチやテーブル、歩きやすい園路、夜間照明 →カフェ・レストラン	・安心安全、快適に利用できる基礎的な施設整備 ・にぎわいや地域の活動の場となる施設整備
参加したい協働の取組み →簡単な清掃活動 →子どもの見守り →花壇の手入れ	・地域協働の仕組みを整える
自身で主催したい活動 →キッチンカー販売やマルシェ等の飲食・物販 →音楽やアートイベント →プレーパーク	・イベント等開催しやすい電源や水道等の整備